

Racing Development

TRD

NEW STYLE ONE MAKE RALLY

Vitz challenge

Round. 6
in
中部

2 Nov. 2008



DUNLOP

AKG
akashic group

WAKO'S

KYB

Kosei

ARUZE

TANIDA
MOTOR SPORTS

PHILIPS

Santsusho

G-SHOCK

KTC

ECLIPSE

洗剤革命

PATLITE

Racing Development
TRD

Factory

Racing Development
TRD

TOYOTA

2008年シリーズ最終戦
決戦の舞台は愛知で開催!!

2008年11月2日、愛知県の湊町『幡豆町』を舞台の中心に、『TRDヴィッツチャレンジRd.6 in 中部』が開催された。

5月に『Round1 in 長野』からスタートした今シーズンも、ついに最終戦を迎えることとなった。

スタート会場の「幡豆町役場」をスタートしたヴィッツラリーカーは、地域のお祭りが開催されている「幡豆小学校」に移動し、セレモニアルスタートのゲートをくぐる。TRDヴィッツチャレンジとのコラボレーションで、お祭りもいっそう華やかなものとなった。



フラッグを振るお祭りピエロに参加者の表情もなごむ。



CVT仕様のヴィッツラリーカーで初出場をした川村選手。



訪れた人々からの暖かい声援を受けてスタートしていくヴィッツラリーカー。色とりどりのヴィッツは周囲の目を引いた。

TRD Vitzchallenge
2008 Rd.6 in CHUBU
Event data

- 主催 ラリーチーム ビー (RTB)
- 開催日 2008年11月2日(日)
- 開催エリア 愛知県内
- スタート会場 幡豆町役場
- セレモニアルスタート 幡豆小学校
- サービスパーク 幸田サーキット
- ゴール会場 幡豆町役場
- セクション数 2
- SS本数 7本
- SSトータル距離 9km
- 総走行距離 約83km
- 参加台数 41台
Class 1 9台
Class 2 4台
Class 3 13台
Class 4 15台
- 完走台数 38台 (不出走1台)
- 取材媒体

株式会社 ニュース出版
WRC PLUS 2008 (モータースポーツ誌)株式会社 JAF出版社
JAFスポーツ (JAF会員向けモータースポーツ情報誌)

今回のSSコース設定は「幡豆町内の林道」「幸田サーキット」「長坂建設特設グラベルコース」の3箇所が7本のSSとして設定された。特に「長坂建設特設グラベルコース」のダイナミックなコース設定は、選手たちの話題にもなっていた。



Service Park >>



表彰式

ヴィッツラリーカーは今日一日のラリーを終えて、幡豆町役場に次々とゴール。不出走1台とリタイヤ2台(いずれもドライブシャフト破損)はあったが、今シーズンの最終戦も無事終了した。表彰式前のひとときにおいては、シリーズを通して戦ってきたライバル同士がお互いの健闘を称えあう姿が多く見受けられ、TRDヴィッツチャレンジらしい、すがすがしい光景をみせていた。

12月13日に開催される、トヨタテクノクラブ横浜本社内にてサンクスパーティ(シリーズ表彰式)をもって、今シーズン全てのイベントが終了となる。競技中とはまた違った選手たちの笑顔が待ち遠しい。

Class 1

1500ccオープンクラス



Class 2

1500ccチャレンジクラス



Class 3

1000ccオープンクラス



Class 4

1000ccチャレンジクラス



Wako's 賞

特別賞



Kosei 賞

特別賞



おかげさまで、「ニュースタイ
ルワンメイクラリ
ー TRDヴィッツチャ
レンジ」は、今シーズンも無事終了
することができました。来シーズンも
TRDヴィッツチャレンジをよろしくお
願い申し上げます。